

資料4

看護必要量評価の導入に関する調査書

貴病院についてお尋ねします。必要事項をお書きください

所在都道府県 [] 設置主体 []

施設の機能 [有床診療所 一般病院 療養型病床群 特定機能病院]

病床数 [床] 平均在院日数 [日]

看護職員数 [人] 看護の基準 []

1. 看護必要量の測定についてお尋ねします。

1) 貴施設では患者さんに必要な看護ケア量（看護必要量）を測定していますか。

下記のはい、いいえのいずれかを選んでください。

はい

いいえ（いいえの方は2、3、4にお進みください）

2) はいとお答えになった方にお尋ねします。どのような測定ツールをお使いでしょうか。

該当する項目の口をチェックを入れてください。（ ）内は〇でお囲み下さい。

原型評価、因子評価の区別は下記の囲みの中をご参照下さい。

原型評価（厚生省の看護度、厚生省の看護度の修正型、その他）

因子評価（TNS、TNS修正型、その他）

その他を選んだ方は内容を簡単にご説明下さい。

（ ）

原型評価：患者の特性を記述することで患者をいくつかのカテゴリーに分類し、必要量を評価する方法。厚生省12分類が代表的です。

因子評価：患者に必要なケアを要素毎に評価することで看護必要量を評価する方法。この方法ではTNSが代表的です。

(3) 原型評価を選んだ方のみにお訪ねします。看護必要量の測定基準はどこに決めていますか。該当する項目の口をチェックを入れてください。

1日あるいは各シフト毎で最も看護必要度の高かった時点測定している

一定の測定時点での必要量を測定している

(4) 測定はいつおこなっていますか。該当するすべての項目の口をチェックを入れてください。測定時間が決まっている場合は（ ）内に測定時間をお答え下さい。

日勤帯（ ）時 準夜帯（ ）時

深夜帯（ ）時 1日のうちで（ ）時

時間を決めないで行っている 入院時

その他（ ）

(5) 測定はどなたが行っていますか。該当する項目の口をチェックを入れてください。

婦長 主任 受け持ち看護婦 チームリーダー

その他（具体的に誰が測定しているかお書きください）

（ ）

(6) 看護必要量を測定する人は特別の教育または訓練を受けていますか。該当する項目の口をチェックを入れて下さい。

特別の教育訓練は受けていない

評価者になるための教育・訓練プログラムがある

先輩から教えてもらうなどOJTでおこなっている

オリエンテーションがある

その他（ ）

(7)看護必要量を測定する人にはどのような能力が必要と思いますか？ そう思われるところにチェックを入れて下さい。

- 看護単位の責任者程度の管理的能力を持っている
- 看護ケア提供者として一人前程度の能力を持っている
- その他必要な能力がありましたらお書き下さい

()

- 特別の能力は必要ない

(8)一人の測定者が必要量の測定にかかる時間をお聞かせください。

患者()人分を、およそ()分間で行っている。

(9)測定頻度はどの程度ですか。該当する口にチェックし、回数をご記入ください。

- ()回/日
- ()回/月
- ()回/年

その他()

(10)測定データの処理についてお尋ねします。該当する口にチェックを入れて下さい。

- 測定者が直接コンピューターに入力している
- 測定者は所定に用紙に記入している

(11)全体のデータ処理にはどのような方法を用いていますか。該当する項目の口にチェックしてください。

- 手作業でデータを処理している
- コンピュータ処理をしている
(パソコンによる処理 施設の情報システム)

その他()

(12)全体のデータ処理はどなたが担当していますか。該当する口にチェックして下さい。

- 看護必要量集計処理等を担当する専任者がいる
それはどなたでしょうか。職能及び職位等具体的にお書き下さい

()

担当の方は何名でしょうか？ ()名

- 集計システムがあるため、自動的に集計されたものが届くようになっている

その他 ()

(13)一日あたりのデータ処理に要する時間はどの程度でしょうか。

()時間/日

(14)看護必要量を分析する段階で看護必要量以外に加味している要因がありましたら下記の該当する項目の口にチェックを入れてください。

- エレベーターの数 病棟のフロア階数
- 看護職員の熟練度 看護の動線
- その他()

(15)測定したデータはどのように活用していますか。該当する項目の□にチェックを入れてください。

必要看護要員数算定

業務分析・改善

病棟間の業務量比較

リリーフ看護婦配置

その他（

）

(16)看護必要量の測定はいつから始めましたか。（ ）内に数字でお答え下さい。

昭和

（ ）年から

平成

2. 看護必要量を評価していないとお答えになったかたにお尋ねします。その理由を下記の中からお選びください。

看護必要量評価準備中

必要を感じていない

その他（理由；

）

3. 看護必要量評価について問題や課題と思っていることがございましたらお答え下さい。

1) 測定ツールについて

2) 測定者について

3) 集計方法について

4) 測定した結果の活用について

5) その他、看護必要量評価について問題、課題等ございましたらお書き下さい。

4. 看護業務の分担の状況についてお尋ねします。各業務について、主として実施している職種・部門に○印を付けてください。

具体的業務	看護部門		他部門	機械化
	看護職	看護補助者		
ベッドメイキング				
ベッドサイドごみ回収				
病棟内の上拭き				
リネの在庫管理				
リネの搬送・収納				
シーツ交換				
注射薬(IVH)のミキシング				
注射薬の在庫管理				
錠剤内服薬の分包				
薬品の搬送				
書類の搬送				
採血				
検体の搬送・容器の補充				
ME 機器の保守・点検				
ME 機器の搬送				
配膳				
下膳				
配茶				
食後の残飯処理				
衛生材料・消耗品の請求				
衛生材料・消耗品の搬送				
衛生材料・消耗品の収納				
退院病歴の整理				
※				
※				
※				

※上記以外に該当する業務がある場合にご記入下さい。

ご回答いただいた方の職位をお書き下さい [

]

ご協力ありがとうございました。